

試験もろ

目標が達成し私に私が声を殺してから

70

科目	森林計画
----	------

10年ちかじかじりました、
ようやく本年度...

受講番号	森林経営一111
氏名	

<答>

1：藤野町の概況

本町は神奈川県最北西端に位置し、東は神奈川県相模湖町、西は山梨県上野原市に接し、南は神奈川県津久井町、山梨県道志村に、北は東京都八王子市・檜原村に接している。地形は、急峻な山林と相模湖に注ぎ込む多数の小河川流域に60を超える集落が点在する典型的な散居形態となっている。

地形は、南北に13.5km、東西に6.8kmで南北に長い長方形を成している。中央部には、東西に相模川が流れ、左岸には国道20号線とJR中央線、中央自動車道が東西に、ともに走り町の骨格をなしている。

また、昭和22年に完成した日本最初の多目的ダム相模湖は、830万人の県民の暮らしを長い間支えてきました。

また、一般的に寒暖の気温差が激しく気温は、県内平均より低いが降雨量は多い。

2：森林の現状

本町の総面積は、6,491haで森林面積は、5,171haで町の総面積の80%を森林が占めている。

また、民有林の人工林面積は、2,722haで人工林率は54%に達し、県平均39%を大きく上回っています。

林家総数は、730戸であり、森林所有者形態をみると5ha以下の山林所有者が79.2%を占めている。1ha未満の林家が315戸と最も多く町全体の43.2%であり零細な森林所有者が極めて多く、分散的な所有構造となっている。

その中でも、森林経営上難問を抱えているのが、不在村地主の所有森林です。

東京に近く不在村地主が年々増加傾向にあり、林業経営上大きな問題となってきました。また、町の人口は10,743人で就業者は第一次産業、農業116人、林業14人、漁業0人小計130人であり、第二次産業は1,969人、第三次産業は3,238人、その他62人、合計5,399人、以上のことから本町は森林が総面積の80%を占め、人工林率も県平均より15%以上も高いわりに第一次産業、林業に従事している人がたったの14人であり、この数字から見てもお分かりかと思いますが、森林の手入れが遅れ、放置された森林が多く目につきます。

手紙は?

不在村地主の森林を手入れをし公益性を高めようには、林業をどうしたらよいか、試験もろ

不在村地主の所有森林が年々増加傾向にあるため.....

